

屋根付き広場の活用について

1. 屋根付き広場とは

- ・公会堂、本庁舎とならび「市民協働型シティホール」を実現するための重要な施設
- ・1年中多彩な市民イベントが展開され、「ハレの行事」をとおして市民の一体感を醸成する場
- ・表彰式、壮行会など市行事の開催により、行政と市民との交流を深める場

2. 市民参加によるワークショップの開催

- ・目的：「屋根付き広場」、「市民活動ホール」、「市民活動ロビー」の利用イメージについて、市民からアイデアを募り、今後の設計に反映してもらうため実施。
- ・開催結果：平成19年2月17日（土）から7月7日（土）まで4回開催、参加者79名
- ・屋根付き広場の活動イメージ・・・別紙のとおり

3. 屋根付き広場の整備計画方針

設計者を選定するためのコンペにおける「長岡市厚生会館地区整備計画方針（平成19年6月）」から抜粋

整備方針	規模・面積	設備・使用	活動イメージ
<ul style="list-style-type: none"> ■雨天時や冬季の利用にも支障をきたさないことに加え、気候や天候外良い時に快適に利用できるよう、適切な形状・設備を備えた屋根を整備する。 ■災害時に、一時避難場所として利用可能な高い安全性を備えるものとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●約1,500㎡を目安として、配置・動線計画等との関係の中で、適切に確保すること。一部建物のピロティ部分等を含めることも可能とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●透光性、開放性、耐震性を備える。 ●雪処理に特段の配慮をする（融雪式・落雪式） ●各種イベントや移動販売車、及び非常時の利用を想定し、電気・給排水設備を整備。 ●イベント等の準備の際、車両の乗り入れが可能となるような構造とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●各種壮行会、出発式、雨天時の米百俵祭り、休憩、待ち合わせ、屋台村、フリーマーケット、地域特産品の直売、ビアガーデン、ラジオ体操、ジャズコンサート、オープンカフェ、パブリックビューイング、結婚式、民間企業キャンペーンなど。